

過電流警報器

外部センサ・小電流対応型過電流警報器 0.5A~20Aプログラム方式

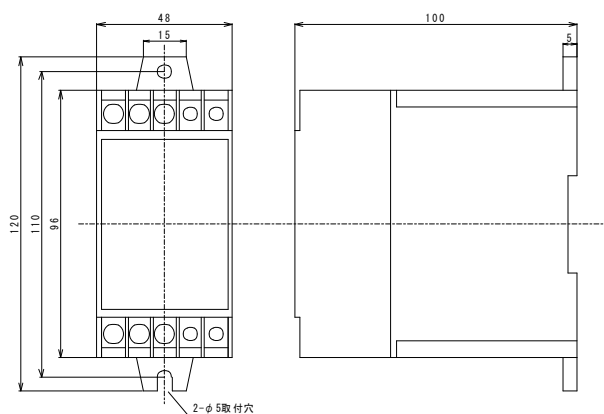


型式 CRY-DLX

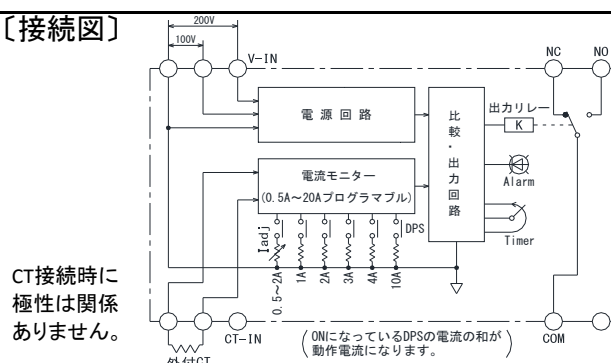
〔特長〕

- モータの過負荷・ヒータの部分短絡、各種電子機器の異常を検知する過電流警報器です。
- 外部制御電源不要な構造で、外部センサ付きの小電流対応型です
- 電源は、100V/200Vタップ付きで共用できます。
- 動作点は、0.5A~20Aのプログラム方式で、正確な過負荷検知が可能です。
- モータの起動電流、トランスの励磁突入電流などの始動モードに対し、電流整定までの不感帯タイマーにより誤動作を防止します。
- 動作表示LED付きで、動作点設定が容易です。
- 警報出力は、無電圧1トランスファー接点です。
- CT内蔵の標準品(CRY-DP)のCT外付タイプです。

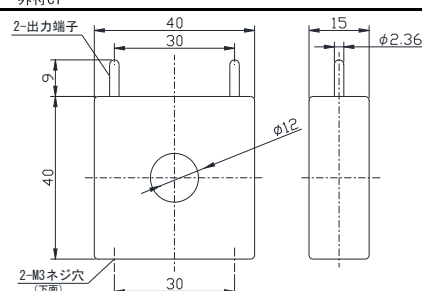
〔外形図〕



〔接続図〕



〔付属CT〕



〔仕様〕

型式	CRY-DLX
電源	AC 100V/200V、50/60Hz 共用 (電圧端子を選択する)
対応電流範囲	0.5A~20Aプログラム方式 (精度±5%)
動作点設定	6桁DPSのうちONになっている電流の和が動作点設定値となります。
外付の付属センサ	CTL-12-S30-10Z (最大許容電流250A連続)
応答時間	100msec (ただし不感帯タイマー動作後) (typ)
動作ヒステリシス幅	(動作電流) - (5%) で復帰
不感帯タイマー	電源投入後0.1S~10Sの範囲で設定可 (Timer)
出力リレーの接点容量	AC125V/0.5A、DC24V/1A、 $\cos\phi=1$
使用条件	-10°C~+50°C、結露のないこと

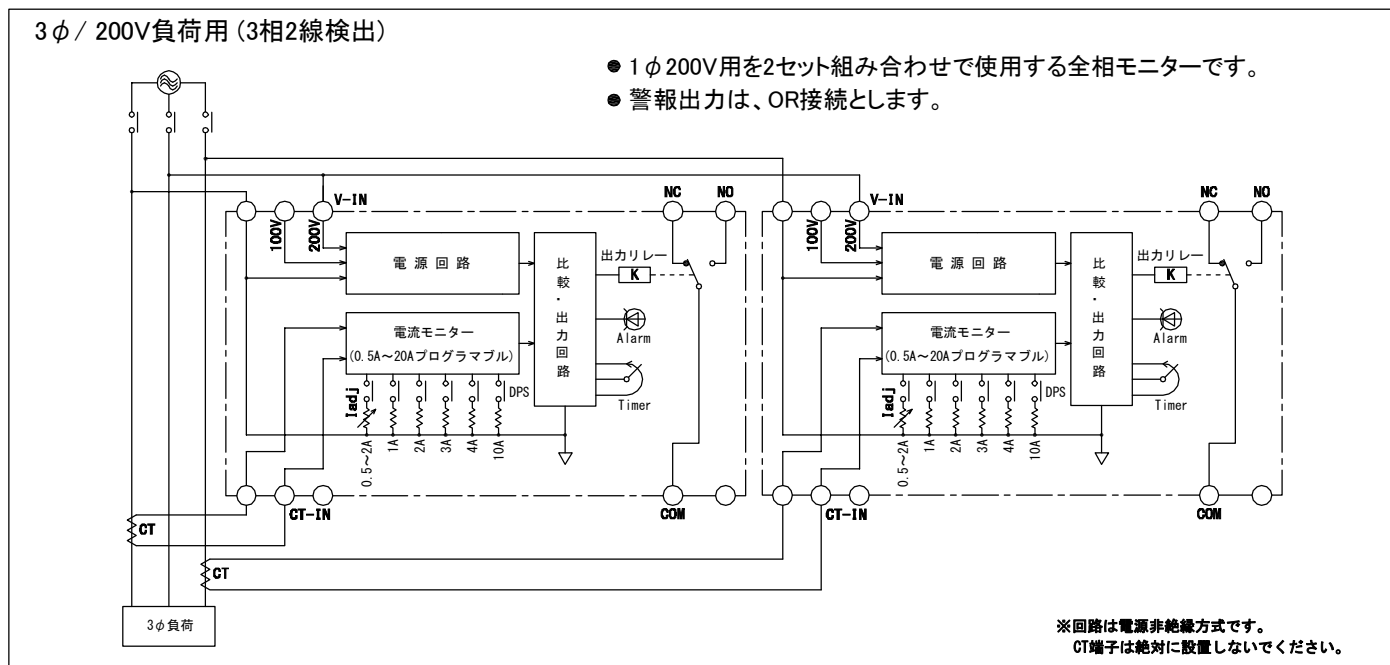
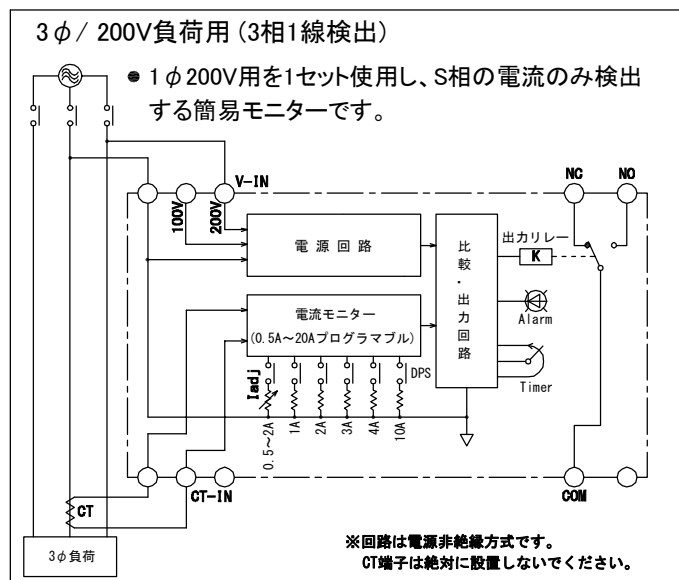
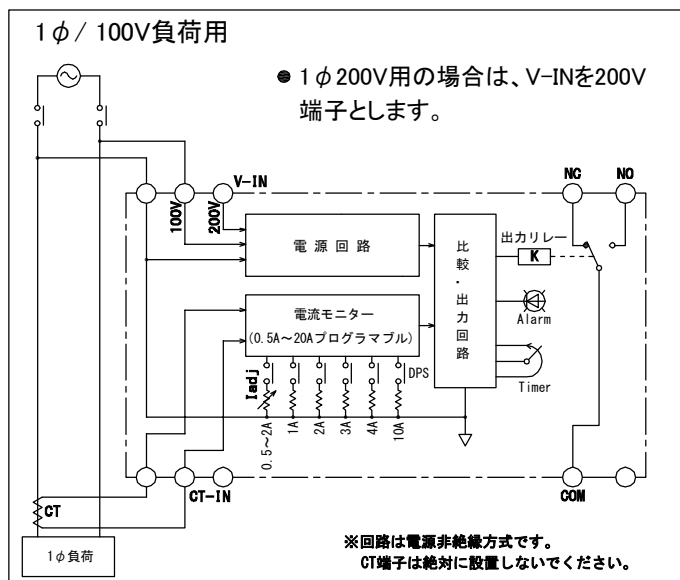
〔使用上のポイント〕

- 動作点のおおまかな設定は、ディップスイッチによって、1A~20Aの範囲を1A刻みですることができます。
- 設定分割能2A以下の微細な設定には、Iadj (0.5A~2A) のディップスイッチを併用してください。
- 実稼動状態で動作点を設定するには、表面のLEDが点灯する設定値の +10%程度の値にすると、十分マージンを持った安定動作となります。
- 分割センサを適用する場合はCTL-CLシリーズ(イージーオーダー品)で変流比(200A/0.2A)を選定する。
- 太物電線対応は、同じ変流比の大口径(CTL-24-S28-10Z)なら特性互換性があります。
- 3相負荷用には、V-INを(R-S間)に、CT-INをR相に貫通させたセンサに接続すれば、単相簡易モニターとなります。
- 回路は電源非絶縁方式です。CT端子は絶対に接地しないでください。
- インバータ2次側でのご使用はできません。
- 正弦波電流専用。歪み電流波形では動作点が異なります。

取扱説明書

CAT-36551A

■ 接続法



■ 表面パネルの設定法と表示

● 動作電流は、6桁のディップスイッチでプログラムします。
ONの位置にある電流値の総和が設定値となります。
(例-1) 設定値 1A : (1A=ON)
(例-2) 設定値 20A : (1A+2A+3A+4A+10A)=ON
(例-3) 設定値 2.5~4A可調整 : (0.5A~2A+2A=ON)・・・左図の状態

● 設定値以上に電流が増加すると(Alarm)LEDが点灯し、出力リレーが動作します。
リレーは、LEDの消灯時はNCにつながり、LEDの点灯時はNOにつながります。
リレーの仕様については、製品仕様を参照してください。

● 実負荷稼働状態で動作点を設定するには、LEDが点灯する値の+10%程度にすると、十分マージンをとった安定動作となります。

● 動作点を1Aきざみより細かく設定したい場合は、上記(例-3)のように(0.5A~2A)の調整用ディップスイッチを併用し、動作点をIadjトリマーで調整してください。
動作点はIadjトリマーで調整できます。

● モータの起動電流など、瞬時大電流で動作しないよう、不感帯タイマー機能を内蔵しています。
不感帯の時間は、Timerトリマーにより(0.1秒~10秒)の間で調整できます。

- 製品改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。
- 特注品の製作も可能です。お問い合わせください。

(販売代理店)

株式会社 ユー・アール・ディー

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-52
TEL 045-502-3111 FAX 045-502-3632